

内容解説資料(地図-310)

教科書協会「教科書発行者行動規範」に
則っております。

この部分が
大きく
になりました!

詳細は、本資料
p.14~17をご覧
ください。

新詳高等地図

帝国書院編集部編

詳しい! 見やすい! 使いやすい!

**ワイドな誌面で一新、
学習の効果が大幅に向上!**

特色1 基本図・拡大図を全面刷新!

- 新たに設置した地図 p.2
- ワイドな誌面を生かして改良した地図 p.14

特色2 地域の“今”を読み解く主題図 p.18

特色3 領土に関する地図・資料が充実 p.22

- ユニバーサルデザイン、アクティブ・ラーニングに対応 p.24
- 「新詳高等地図」のもくじ、授業への万全のサポート p.26

光沢を抑えた、書き込みがしやすい紙に変更しました。
※本資料は地図帳と同じ紙を使用しています。

帝国書院

基本図・拡大図を全面刷新! 新たに設置した地図

特色1

ヨーロッパ中心部をさらにズームアップ!
見やすくなった地図でEU要部を読み解く!



EUの主要機関も確認できる!
政治、経済、文化の中心に迫る新しい地図

- ・ライン川流域圏、パリ盆地周辺、ロンドン周辺などに形成されるEUの中核となっている地域が、狭い範囲に集中していることや、各都市を結び交通網を確認できます。
- ・ブリュッセルにある欧州委員会など、EUのおもな機関の位置を確認できるほか、シェンゲンなど歴史上重要な地名も充実しました。

※280万分の1の地図(「EU要部」)を新設したことで、520万分の1の地図(「ヨーロッパ中央部」)の地名を精選し、見やすさを追求しました。詳しくは、本資料p.6をご覧ください。

基本図・拡大図を全面刷新！ 新たに設置した地図

特色1 アメリカ合衆国北東部をさらにズームアップ！ より拡大した地図でメガロポリスを読み解く！



メガロポリスの広がりや、五大湖周辺の工業地域の発達などがみえる新しい地図

- ・ボストン～ニューヨーク～ワシントンD.C.にかけてのメガロポリスの広がりや各都市を結ぶ交通網、主要工業のようすを読み解けます。
- ・同縮尺の日本(部分)を掲載し、東京～大阪間の距離と対比もできます。
- ・五大湖南部のシカゴやデトロイト、国境を越えたトロントやモントリオールなどの都市との結びつきも読み取れます。

①アメリカ合衆国北東部
1:4,000,000
アルベルス変形投影法
国土地理院作成(2012年現在)

おもな工業		おもな工業	
石油精製	自動車	繊維	食品
化学	オートバイ	食品	ビール
タイヤ	造船	電子機器	パーキング
鉄鋼	電子機器	機械	たばこ
航空・宇宙	熱帯産物	木材	パルプ
国立公園	アメリカ独立戦争のおもな場		
アイビリークに所属する大学			

ズームアップした地図を新設したからこそできた!
既存の地図の地名を精選し、見やすさを追求!

**ヨーロッパ中央部の
見やすさが向上!**

・p.45-46「EU要部」(本資料
p.2-3)を新設したことで、小縮
尺ページにあたるp.43-44
「ヨーロッパ中央部」の地名など
を精選し、見やすくなりました。



p.43-44(30%に縮小)→



↑平成25年度版「新詳高等地図」p.50-52(原寸大)

↑p.43-44(原寸大)

→ 詳細な地名は、p.45-46「EU要部」に掲載

朝鮮半島が見やすく

・平成25年度版と図取り(地図の範囲)は同じですが、ワ
イドな誌面を生かして、縮尺を350万分の1から300万
分の1へ変更(約1.2倍)しました。その結果、都市部を
中心に地名が読み取りやすくなりました。



↑平成25年度版「新詳高等地図」p.19-20(原寸大)



↑p.17-18(35%に縮小)

↑p.17-18(原寸大)

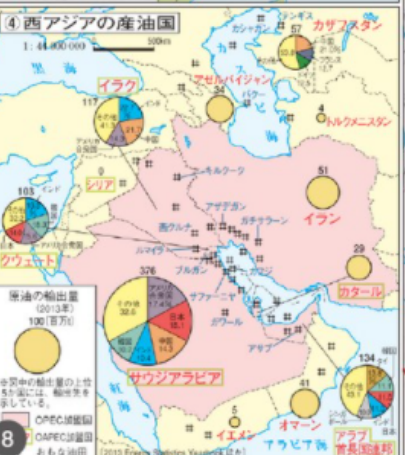
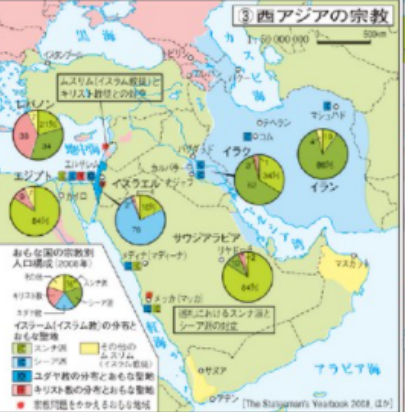
地名が
見やすく

原寸大
比較

基本図・拡大図を全面刷新！新たに設置した地図

情勢が激しく変化する「中東要部」を読み解く

原寸大



世界中が注目する中東要部を、民族・宗教・石油と関連づけて読み解く！

- ・ISIL(いわゆる「イスラム国」)問題で注目が集まるシリアやイラクから、イスラームの聖地であるメッカまでを、一つの地図で見渡すことができますようになりました。
- ・パイプラインや主要航路を掲載しているので、原油の産地とその輸出の経路がわかるなど、エネルギー学習にも役立ちます。

情勢が激しく変化する「南アメリカ要部」と「東ヨーロッパ・ロシア連邦要部」を読み解く



↑ p.83-84(55%に縮小)

変化するブラジルの農業や工業に迫る

- ・大豆栽培が急増しているパンパからセラード、熱帯林の伐採が進むアマゾンまでが一望できます。
- ・土地利用表現の地図なので、アマゾンの熱帯林を蚕食するように拡大している畑作地など、アマゾンの水資源・植生を読み取れます。
- ・アマゾン開発の拠点になっているマナオスや、航空機やコンピュータなどの先端技術産業のさかんなサンパウロなども確認できます。

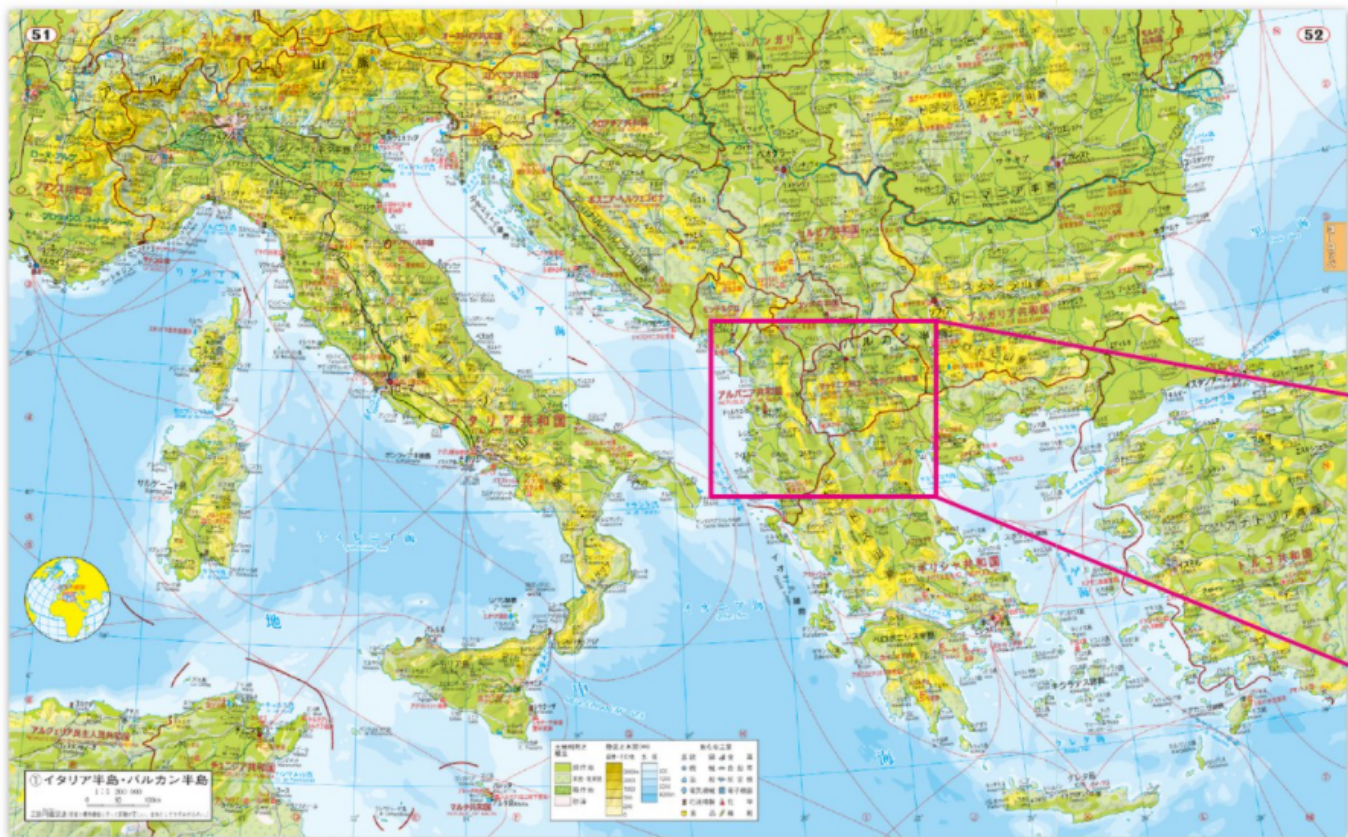
東ヨーロッパ諸国やカフカス地方の国々とロシアとの関係を読み解く

- ・クリミア編入問題で注目を集めたウクライナや、民族紛争が絶えないカフカス地方などと、モスクワやサンクトペテルブルクなどのロシア主要都市との位置関係が読み取れます。
- ・パイプラインをたどることで、エネルギーの供給と消費についても考えられます。



↑ p.61-62(55%に縮小)

地中海地域の拡大図を新設! 地名も詳しく、地域のようすが読み取りやすい!



↑ p.51-52(60%に縮小)

イタリア半島・バルカン半島の 拡大図を新設

- ・イタリア北部では工業がさかんであること、南部には工業地域が少なく、農業が中心になっていることなど、南北格差の問題を読み解けます。
- ・拡大図を新設したことで、地名や世界文化遺産など、地域情報が詳しくなりました。



↑ p.51-52(原寸大)

↑ 平成25年度版「新詳高等地図」p.47-49(原寸大)

ヨーロッパを同縮尺で比較できる

- ・p.43-44「ヨーロッパ中央部」、p.49-50「イベリア半島」、p.51-52「イタリア半島・バルカン半島」の地図は、同縮尺なので地域を簡単に比較できるほか、重ね合わせることでもできます。



広範囲が見渡せる！ 地域間の結びつきが読み取れ、使いやすくなった地図

ワイド(AB判)になって、さらに使いやすく！

- ▶ ①広範囲が見渡せる!隣接する地域との結びつきが読み取りやすくなりました。
- ▶ ②見やすい!縮尺を大きくして地域情報が読み取りやすくなりました。→本資料p.7へ



バングラデシュやブータンの全域が見渡せる

- ・の範囲が、平成25年度版の地図帳から拡張した範囲です。図取り(地図の範囲)が東西に広がりました。
- ・例えば、バングラデシュやブータンの全域を詳しく見渡せるほか、アッサム地方の茶の栽培も確認できます。
- ・インドより西側の地域では、インドからムスリムが多く移住したカラチまで見渡せます。

自然と農業のかかわり

インドではさまざまな農業がみられるが、一般に、年降水量が1000mmをこえる地域では稲作が農業の中心であり、ヒンドスタン平原や沿岸部の沖積平野が代表的な稲作地帯となっている。年降水量が1000mm未満の地域をみると、インド北部では小麦が穀物栽培の中心であり、とくにパンジャブ地方は世界的な小麦産地として知られる。近年は、棉花の栽培もさかんである。レグールが分布するデカン高原では、乾燥した気候に適した棉花やソルガム(もろこし)、大豆などが栽培されている。降水量の多いダーージリン地方やアッサム地方の丘陵地では、プランテーションによる茶の栽培がさかんである。

↑弊社発行 平成29年度版「新詳地理B」p.259「インドの農業と農村の変化」

等高段彩表現の地図



↑p.27-28(60%に縮小)

↑p.29-30(60%に縮小)

判型の変更について

平成25年度版の地図帳(B5判)に比べて、ヨコが56mm広がっています。(タテがB5判,ヨコがA4判サイズ)



インド南部・スリランカの地図を新設

・インドが拡大図でもほぼ 全域網羅されるようになりました(「インド南部」と同縮尺)。

自然と農業のかかわりがわかる土地利用・植生表現の地図

- ・弊社発行「新詳地理B」では、インドの農業について上記のように記述しています。教科書の本文だけではイメージしにくい、稲作地、畑作地などの広がりを具体的にイメージでき、より理解を深められます。
- ・『新詳高等地図』では、等高段彩表現と土地利用・植生表現を学習内容に応じて使い分けています。等高段彩表現では大インド(タール)砂漠の標高が低いいため、緑色で表現されますが(右上)、土地利用・植生表現では広大な砂漠が広がっていることが、一目でわかります(左上)。

基本図・拡大図を全面刷新！ **ワイドな誌面を生かして改良した地図**

広範囲が見渡せる！ 地域間の結びつきが読み取れ、使いやすくなった地図

アフリカとインド、中国などのつながりが読み取れる

- ・現行のアフリカ大陸中心の地図を、アフリカ・インド洋に着目した地図に一新しました。
- ・弊社発行『新詳地理B』のアフリカ地誌の単位では、右記のように記述しています。インド洋交易によるつながりを、『新詳高等地図』を使って具体的に確認できます。

を通じてサヘルにイスラームが浸透した。また、東岸ではムスリム商人によるインド洋交易がさかんだったため、現在でもムスリムが多く、アラビア語の影響を受けたスワヒリ語が使われている。15世紀末のヨーロッパ諸国による奴隷貿易の結果、内陸部を中心に労働

1 弊社発行 平成29年度版『新詳地理B』p.272「歴史的な背景によって形成された多様な文化」



1 平成25年度版『新詳高等地図』p.39-40(25%に縮小)

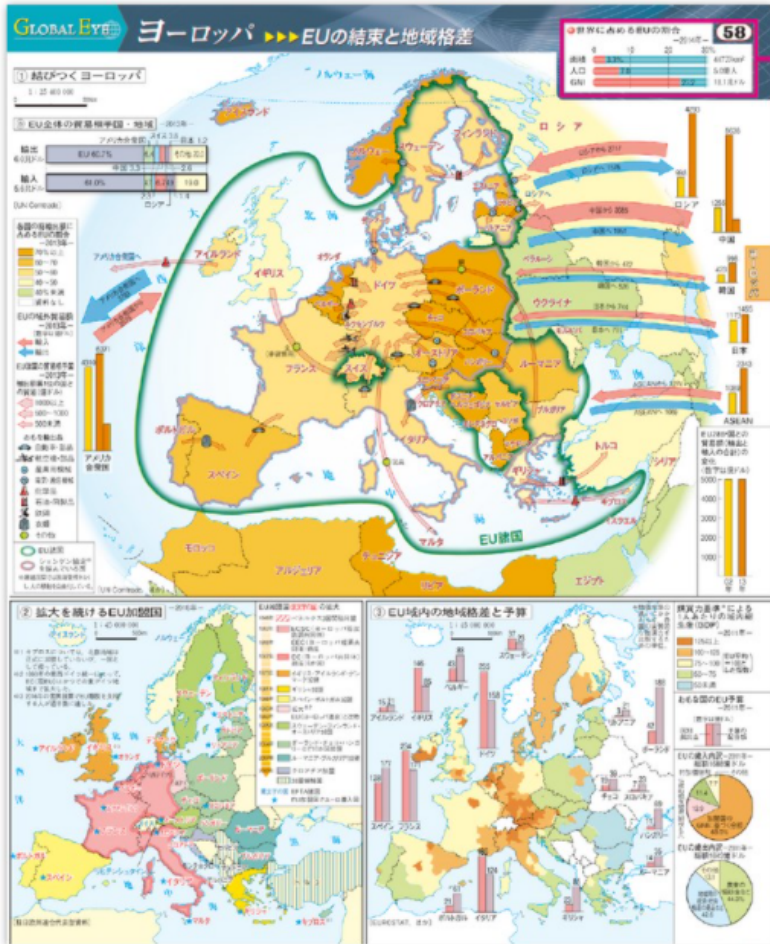


三大洋に着目した地図

- ・太平洋、大西洋、インド洋を中心とした地図をそれぞれ掲載しています(p.35-36, p.65, p.89-90)。

1 p.35-36(70%に縮小)

地域経済の動きに迫る特集ページ「GLOBAL EYE」



取り上げた国や地域機構の「面積」、「人口」、「GNI」の世界比のグラフを共通して掲載しています。

EUの結束と地域格差がわかる

- ・弊社発行「新詳地理B」のヨーロッパ地誌の単元(工業)では下記のように記述しています。工業の生産拠点が東ヨーロッパ地域に移動しているようすを、具体的に「新詳高等地図」で確認できます。
- ・生活、工業、農業などの各分野を越えて、地域統合の現状と課題を、経済の視点から横断的に学習することができます。

した。これに対して、例えば航空機産業の分野では、イギリス・フランス・ドイツ・スペインの4か国が協力してエアバス社を設立した。現在は、アメリカ合衆国のボーイング社と競いながら、大型旅客機を開発して各国への売り込みに力を入れている。

一方、東ヨーロッパでは、2004年のEU拡大以降、機械工業な

どが進んでいた旧東ドイツ地域やチェコなどへ、西ヨーロッパの企業が生産拠点を移す動きがみられる。これは、社会主義体制の下で経済発展が遅れていた東ヨーロッパ諸国では、西ヨーロッパに比べて賃金が安く、低い生産コストですぐれた製品をつくることのできるためである。また、ポーランドやチェコ、ハンガリーなどを中心

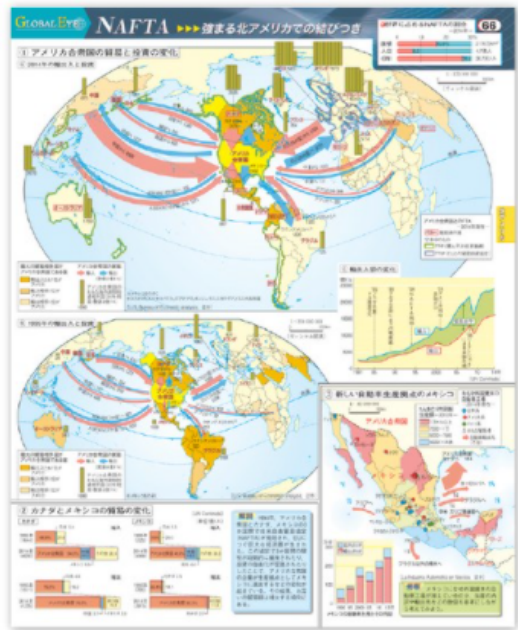
↑弊社発行 平成29年度版「新詳地理B」p.285「移り変わるヨーロッパの工業」

"ヒト", "モノ", "カネ"の動きに着目し, 地域像に迫る GLOBAL EYE

中国, ASEAN, インド, EU, NAFTAに関しての特集ページを新設しました。移民などのヒト, 貿易などのモノ, 投資などのカネなどの視点を中心として, グローバル化する現代社会にあつて, それぞれの国や地域がどのような地域性を出そうとしているのかがわかる資料を多数掲載しました。

掲載箇所一覧

- p.16 中国—世界第二位の経済大国
- p.25 ASEAN—強まる結びつき
- p.26 インドを中心とする南アジア
- p.58 ヨーロッパ—EUの結束と地域格差
- p.66 NAFTA—強まる北アメリカでの結びつき



NAFTA加盟国間で強まる結びつきがわかる

・1995年と2013年の輸出入と投資を比較することで、NAFTA結成以来、域内の結びつきが強まったこと、域内の経済力が高まったことを読み取れます。



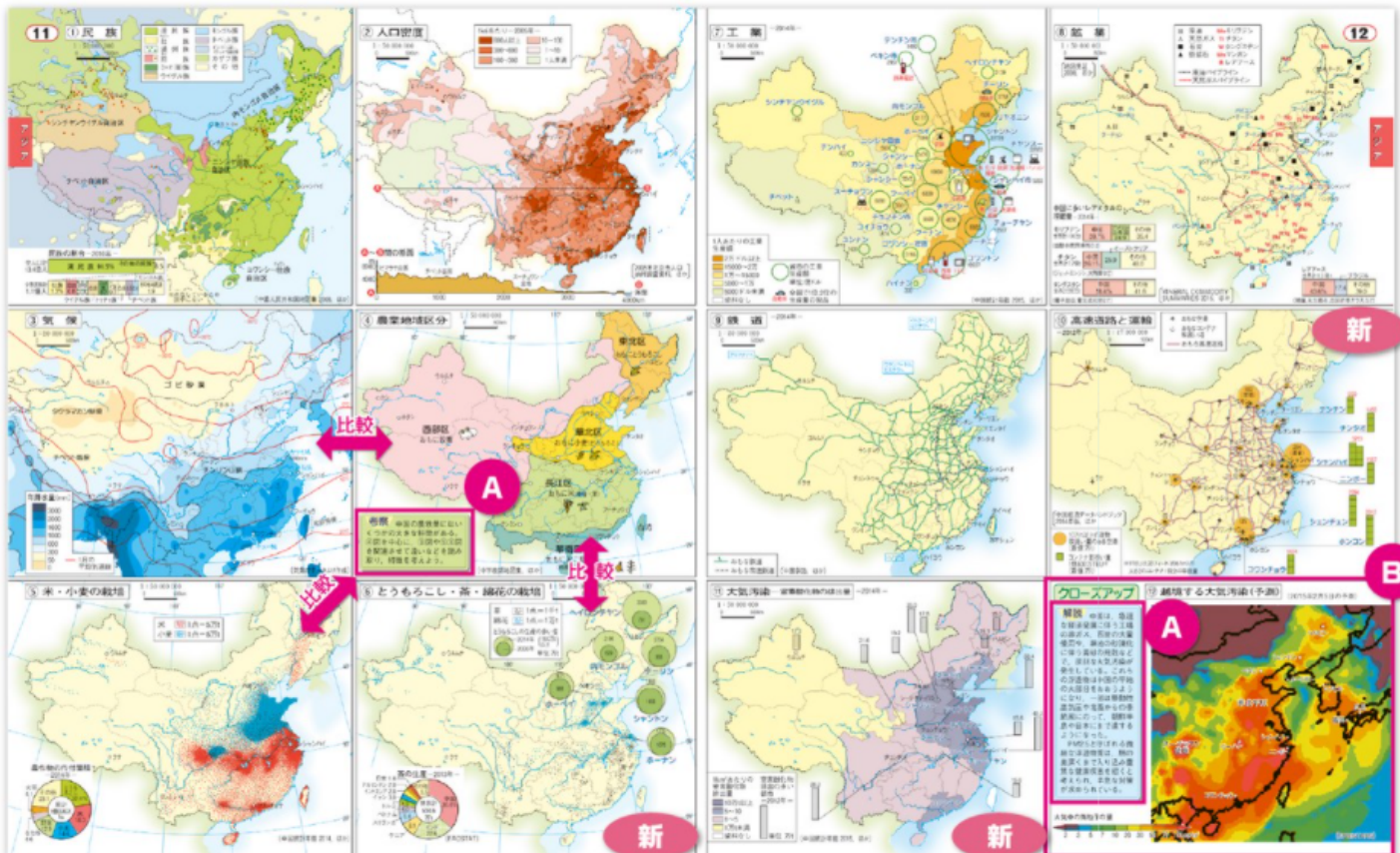
世界の経済大国 中国のすがたがわかる

・世界の工場であり、巨大市場でもある中国の輸出入のようすを読み取れます。また、中国が抱える、都市と農村の格差、沿海部と内陸部の格差についても読み取れます。

大きく、見やすく、新しく!同縮尺で関連性が読み解きやすい!

AB判を生かして主題図を大きく!新たなテーマも追加!

- ・PM2.5で注目される中国の大気汚染の資料を新設するなど、地域の“今”を読み解く資料を掲載しました。
- ・中国以外の地域でも、南アジアの繊維産業やアメリカ合衆国のシェールガスの主題図などを新たに掲載しました。



比較

比較

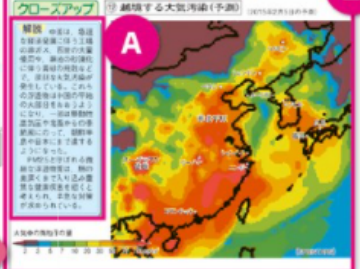
A

新

新

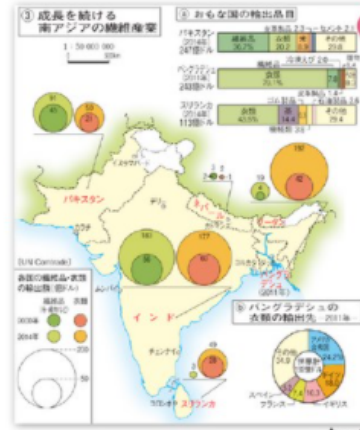
新

B



A

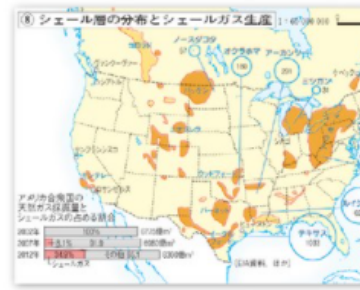
↑p.11-12



新

・バングラデシュやインドなどで急速に成長している繊維産業を読み解けます。

↑p.26



新

・シェール層の分布とシェールガスの生産量を読み解けます。

↑p.78

「解説」や「考察」で読図をサポート! A

・「解説」では、主題図中の難しい用語や事象の背景などをわかりやすく解説しています。

・「考察」では、主題図から考えられること、主題図を読み解くポイントを示しています。課題意識をもって学習に取り組みます。→本資料p.25「アクティブ・ラーニングへの対応」もご覧ください。

新しさを追求した クローズアップ B

・「クローズアップ」では、特に地域の新しい動向を取り上げました(計8テーマ)。

・例えば中国の主題図ページでは、越境する大気汚染の予測図を掲載し、日本への影響も考えられます。

- おもな掲載箇所**
- p.64 ロシアの経済開発と外国からの投資
 - p.77 センターヒポット灌漑の普及と肉牛肥育地の変化
 - p.84 変化するブラジルの農業 など

日本の国土の現状が理解できる地図



↑ p.93- 94(55%に縮小)



↑ p.117-118(25%に縮小)

北海道地方の地図に 北方領土も全域掲載

- ・ワイドな誌面を生かして、日本の地方ごとの地図も図取り(地図の範囲)が向上しました。
- ・例えば、「北海道地方」の地図では、一つの地図で択捉島まで見渡せるようになりました。

日本の位置とまわりの国々が読み取りやすい

日本の部がはじまる最初の見開きページに、日本の領土や排他的経済水域などが学べる地図と主題図を掲載しました。日本の東西南北端や北方領土の変遷の資料も掲載し、国土に対して正しい認識を身につけられるように配慮しました。



↑ p.97-98

日本列島の地図を改訂!同縮尺で重ね合わせも可能

- ・東京、上海、台湾までを見渡せるように、日本列島(Ⅱ)の地図を改良しました。南西諸島が南北に長いこと、福岡から大陸までが近いことなどを確認できます。
- ・グループ学習などで2つの日本列島の地図を重ね合わせると、択捉島から与那国島までを連続して見渡せ、日本列島の広がりを確認できます。

ユニバーサルデザイン、アクティブ・ラーニングに対応

見たいページを開きやすく

- ・折り込みをなくして、全ページ見開き構成にしました。
- ・見開きの左右に地域別のインデックスを設置し、目的のページを開きやすくしています。

カラーユニバーサルデザインに対応

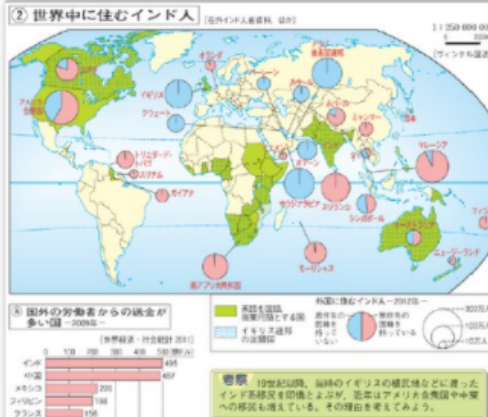
- ・稲作地や草地・放牧地に地紋を入れたり、クサ色(緑色)で等高線を書き加えたりすることで、色の違いを判別しやすくしています。
- ・色覚特性をもつ生徒も見やすいように、緑の地色に赤文字の組み合わせを極力避けています。また、国名や都道府県名の赤い文字には黒でふちどりをしています。



↑ p.43①ヨーロッパ中央部(原寸大)

アクティブ・ラーニングへの対応

- ・生徒の主体的・協働的な学習が促せるように、「考察」や「解説」を提示し、課題意識をもって学習に取り組めるようにしています。



↑ p.26

地図帳用紙の研究を重ね、より美しく、書き込みも可能に

- ・従来よりも光沢を抑えて光を反射しにくく、さらに、地図に書き込みがしやすい紙を開発しました。今まで以上に読み取りやすく、効果的に学習できます(本資料は新しい地図帳と同じ紙を使用しています)。

ざくいで地名も探しやすく

- ・フォントを変更し、文字サイズも大きくするなど、地名が探しやすくなりました。

5色印刷による鮮やかな田や畑の色

- ・田などが鮮やかに見えるように、通常の4色(赤・青・黄・黒)に特製の「クサ色(緑色)」を加えた5色のインキで印刷しています。さらに、特別な赤・黄の2色を加えた計7色を使い分けることで、美しい地図表現を追求しています。

アイスランド	83	F6	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	G2	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	H3	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	A-B15	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	G2N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	C-D3N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	E2	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	E2S	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D-E5N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	C-D5N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	E1	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D3	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	F3	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2S	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	F6	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	F6	アトランティックシティ	45	60

原寸大
比較

文字表現の工夫

- ・地図中の地名・産物名等の文字は読みやすいように配慮し、原則ページをまたがずに、書体・大きさにメリハリをつけています。
- ・鉄道名と河川名の書体を変え、判別しやすくしています。

アイスランド	83	F6	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	G2	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	H3	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	A-B15	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	G2N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	C-D3N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	E2	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	E2S	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D-E5N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	C-D5N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	E1	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D3	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2N	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	F3	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	D2S	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	F6	アトランティックシティ	45	60
アイスランド	83	F6	アトランティックシティ	45	60

新

『新詳高等地図』のもくじ、 授業への万全のサポート

『新詳高等地図』のもくじ

世界の国々、おもな国の国旗	1-2	アジア	
もくじ、地図帳の凡例、交通	3-4	ユーラシア・オーストラリア・北極	56
東アジア	7-8	東南アジア要部	21-22
中国要部	9-10	東南アジア資料図	23-24
中国資料図	11-12	【特集】ASEAN-強まる結びつき・25	
ベキン、シャンハイ、		【特集】インドを中心とする南アジア	26
チュウ川デルタ、台湾	13-15	南アジア	27-28
【特集】中国		インド要部、	
-世界第二位の経済大国-	16	インド南部・スリランカ	29-30
朝鮮半島	17-18	西アジア、	
東南アジア	19-20	イスラエル・パレスチナ	31-32
中東要部	33-34		
アフリカ			
アフリカ・インド洋	35-36	アフリカ資料図	39
アフリカ北部	37-38		
ヨーロッパ			
ヨーロッパ資料図	40	ヨーロッパ資料図	55-56
ヨーロッパ	41-42	ロンドン、パリ、ベルリン	57
ヨーロッパ中央部	43-44	【特集】ヨーロッパ	
EU要部	45-46	-EUの結成と地域格差-	58
地中海地方	47-48	ユーラシア北部	59-60
イベリア半島、スイス	49-50	東ヨーロッパ・ロシア要部	61-62
イタリア半島・バルカン半島	51-52	ロシア・ロシア周辺諸国資料図	63-64
イギリス・アイルランド、			
スカンディナヴィア半島	53-54		
北アメリカ			
北アメリカ・大西洋	65	アメリカ合衆国北東部	73-74
【特集】NAFTA		アメリカ合衆国西部、	
-強まる北アメリカでの結びつき-	66	北アメリカ資料図	75-78
北アメリカ	67-68	中央アメリカ	79-80
アメリカ合衆国	69-70	南アメリカ	81-82
アメリカ合衆国		南アメリカ要部、	
中央部、東部	71-72	南アメリカ資料図	83-84
オセアニア		太平洋	89-90
オーストラリア	85-86	太平洋の島々、太平洋資料図	91
ニュージーランド	85-86	北極、南極	92
オーストラリア要部、			
オセアニア資料図	87-88		
日本			
日本の位置とまわりの国々	93-94	京阪神	107
日本列島(Ⅰ)、		大阪、名古屋	108
伊豆・小笠原諸島	95-96	中部地方	109-110
日本列島(Ⅱ)、沖縄島、		関東地方	111-112
宮古列島、八重山列島	97-98	東京周辺、東京	113-114
九州地方	99-100	東北地方	115-116
中国地方	101-102	北海道地方	117-118
四国地方	103-104	北海道地方要部	119-120
近畿地方	105-106		
主題図			
地形(一)(二)・集落	121-124	人口・食料問題	135-136
気候(一)(二)	125-128	言語・宗教・観光	137-138
環境問題	129-130	日本の資料図(一)	139-140
農業・林業・水産業	131-132	日本の資料図(二)	141-142
資源・エネルギー・		地図投影法、地図にみる世界、	
鉱工業・貿易	133-134	地球の歴史	143-144
統計	145-156		
さくいん	157-171		
通信	172		
世界の地形	173-174		

折り込みをなくして、配列もわかりやすく ～ヨーロッパを例に～



授業への万全のサポート

教師用指導書、指導者用デジタル地図帳、準拠ワークなど、周辺教材を充実させ、万全のサポート体制を整えております。弊社「高校教科書・副教材カタログ」および、「高等学校指導者用商品・サポート案内」に詳細情報を掲載しています。あわせてご覧ください。

見本 サンプル ご審査用見本、または部分サンプルをご用意しています。弊社までご連絡ください。

新詳高等地図 指導資料 DVD-ROM付

- ・各図のねらいや解説、地図帳を使った活用例を掲載しています。
- ・地図帳掲載の全ての地名を収録した、別冊総ざくいんを収録しています。

指導者用デジタル地図帳 新詳高等地図・標準高等地図・地歴高等地図 **サンプル**

- ・高等学校用地図帳の誌面と補助コンテンツ(雨温図や統計など)を収録しています。
⇒サンプルがございます(DVD-ROMおよび弊社ウェブサイト)。

教師用 指導書

準拠ワーク

楽しい地図ワーク 基礎編 **見本**
・地図帳を使って、基礎地名の確認ができます。

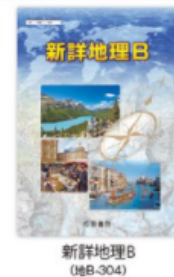
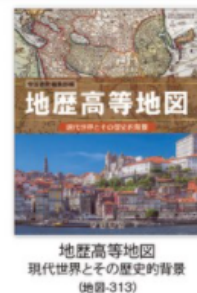
ウェブサイト

・最新の統計・資料・写真など豊富なコンテンツを公開しています。
⇒今すぐアクセス! <http://www.teikokushoin.co.jp/>

定期冊子

地理・地図資料
・年4回無料でご希望の先生にお届けしています。
⇒ご希望の方は、弊社までご連絡ください。一部バックナンバーもご用意しています。

地図帳・地理A・地理B教科書のラインアップ



〈特色一覧〉

※表のデータは弊社ウェブサイトに掲載しています。

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養が身に付けられるように、等高度彩表現や土地利用・植生表現など、さまざまな地図表現が効果的に用いられている。 ◆現代世界を理解し、今後の動向を考察するのに必要な一般図(基本図・拡大図)や主題図が豊富に掲載されている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆大判を生かして、基本図、都市圏、主題図が豊富に掲載されており、自然環境、産業、地誌などのさまざまな学習に対応できるよう編集されている。 ・基礎的・基本的な地図・資料に加え、現代世界の現状を理解するのに必要な基本図・拡大図が豊富に掲載されているため、世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養が身に付けられるようになっている。 ・AB判のワイドな誌面が生かされ、地域間の結びつきなどが読み取りやすいように工夫されている。 ・資料性が高い主題図が豊富に掲載されており、歴史や民族、農業や工業などの産業、人々の暮らしの様子がわかるようになっている。 ・自然災害に関する資料、ハザードマップの例が掲載されており、防災もしっかり学べるように工夫されている。 ・日本の領土とその広がりが正しく学べる地図・資料が掲載されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本図、主題図、統計資料の各ページにおいて、世界の今の姿が身に付けられるよう、工夫がなされている。 ・地理歴史科・公民科の学習上必要な一般図(基本図・拡大図)、主題図、統計資料がバランスよく掲載されている。また、世界地図が充実しており、日本地図、主題図、統計資料の各ページにおいて、国や地域がバランスよく取り上げられている。 ・特集ページ「GLOBAL EYE」や、「クローズアップ」コーナーが設けられ、内容を続ける世界各地の今の姿が身に付けられるように工夫されている。 ・世界史や日本史の授業で扱われる「史跡・歴史的に重要な地名」や「古戦場跡」が記載されたり、現代社会などの公民科でも扱われる環境問題に関する主題図が掲載されたりするなど、地理的分野以外の活用にも配慮されている。
表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ◆さまざまな地図表現が適宜、効果的に用いられ、必要な情報が読み取りやすくなっている。 ・さまざまな図法や地図表現が効果的に用いられている。基本図は、標高で配色する等高度彩表現で統一されている。拡大図は、土地利用や植生がわかる地図表現が導入されるなど、人々の生活や産業の様子が読み取れるようになっている。 ・基本図や拡大図によって掲載情報に軽重がつけられ、文字はできるだけ大きくなっているなど、重要な地名が読み取りやすいように工夫されている。また、世界地図ページでは位置図が設けられ、当該地図における地球上の位置が確認しやすくなっている。 ・赤色の国名・都道府県名が黒色で緑取りされたり、道路が黒色の二条線になっていたりするなど、判読しやすい地図表現になっている。 ・色覚に特性をもつ生徒でも色を判別して地図が読めるように色彩表現が工夫されている。判別しにくい色彩が隣り合う場合には、凡例に模様(地紋)が入れられるなど、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・読み取りが難しい主題図に対しては、「解説」や「考察」コーナーが設けられ、主題図を活用して思考・判断・表現できるよう配慮されている。 ・さくいんは、文字が大きくなっているなど、地名が探しやすいうように配慮されている。 ・世界の地図には、国名や都市名、自然地域名称に欧文が並記されている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取りやすい地図にするため、通常の印刷で使われる赤・藍・黄・黒のインキだけでなく、特別な色を加えた計7色を使い分けている。 ・統計資料ページもフルカラーで印刷され、資料が読み取りやすくなっている。 ・紙は反射を抑えつつ鮮明に発色し、裏写りしない軽量なものが使用されているため、地図・写真が美しく鮮明に表現されている。 ・長期の使用に耐えよう、糸かがりしたうえで糊付けされた堅牢な製本になっている。 ・環境に配慮された再生紙と植物油インキが使用されている。

〈別記著作者〉

荒井 良雄 (東京大学 教授)

◆人文地理学

鈴木 厚志 (立正大学 教授)

◆地理情報科学, 地図学

藤井 正 (鳥取大学 教授)

◆都市地理学

茅根 創 (東京大学 教授)

◆地球システム科学, サングラス学

松本 淳 (首都大学東京 教授)

◆気候学, 自然地理学

地図帳は、科目を問わずご使用いただけます!

地図帳は、文部科学省検定済教科書です。
地理はもちろん、世界史・日本史・現代社会などの
地理歴史科・公民科科目でご使用いただけます。

※本資料は弊社のウェブサイト
閲覧・ダウンロードできます。



株式会社 帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29

TEL 03-3262-0831

URL <http://www.teikokushoin.co.jp/>

※本資料の掲載ページには編集集のものも含まれます。